

第3学年 社会科学習指導案

日 時 令和3年11月10日（水曜日） 3校時（10：35～11：20）
学 年 第3学年（23名）
授 業 場 第3学年松組 教室
指 導 者 加村 麻衣

1 単元 火事からまちを守る

2 単元の目標

- 消防署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災などの防止に努めていることを理解できるようにする。
- 関係機関や地域の人々の諸活動から、相互の関連や従事する人々の働きを考え、文章で記述したり説明したりできるようにする。
- 地域や自分自身の安全を守るためにできることを考えようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none">○施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて、見学・調査したり、地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め読み取り、白地図や図表にまとめたり、文章で記述したりしている。○調べたことについて比較・分類・総合・関連付けなどを行いながら、関係機関は相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">○消防施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目し、関係機関や地域の人々の諸活動について捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、図表や文章などで表現している。○地域や自分自身の安全を守るために、自分たちにもできることなどを考えたり、選択・判断したりして表現している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">○火災から地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。○地域の安全な生活を維持するために、地域社会の一員として、学習したことをもとに自分たちに協力できることを考え、社会生活に生かそうとしている。

4 単元について

(1) 子どもの実態と培いたい資質・能力について

本学級の子どもたちは、テレビや新聞などで火災について知っており、緊急事態が起きた時の初期対応や避難の仕方は、避難訓練を通して学んでいる。しかし、ほとんどの子どもたちは、火災が安全や財産を脅かす恐ろしい災害であることや、身近に起こり得る危険性があることと感じていない。また、火災から私たちの安全を守ってくれている関係機関の様子や、普段の生活で目にする消防施設・設備の役割などについては分かっていない。

本単元では、火災はいつ誰が遭遇するか予測がつかず、自分たちのまちでも火災が起こっているということを知り、子どもたちに自分事として捉えさせる。しかし、板野町の火災の発生件数が1年間で3件におさまっていること、全焼件数がほとんど0件であることにより、消防署や地域の人々の取組の成果だということに気付かせたい。そして、自分たちの町には火災からくらしを守る様々な工夫があることについて知っていくなかで、自分たちも地域の一員として何かできることはないか考え、選択・判断し、社会生活に生かすことのできる子どもを育てたい。

(2) 教材について

本単元では、火災現場のイラストや学校での避難訓練の様子などから、火災について改めて知り、恐ろしさや起こってはならないものだということを子どもたちに捉えさせる。また、実際に火災が起きた時の消防署の対応や火災を防ぐための取組を調べていく。そして、消防署で働く人たちは、町を守るために、既習の警察署などの関係機関や地域の人々と協力して活動していることに着目できるようにする。防火や消火に関する取組について自分事として捉え考えられるようにする。そのために消防署や消防団との関連や消防設備などの役割を知り、防火や初期消火などの大切さを学ぶ。自分たちのまちを守りたいという思いをもち、自分にできることについて考えさせたい。

(3) 単元の構造図

〔学習指導要領との関連〕 第3学年 内容(3)

【知識・技能】

(ア) 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対応する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して、火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。

【思考力・判断力・表現力等】

(ア) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。

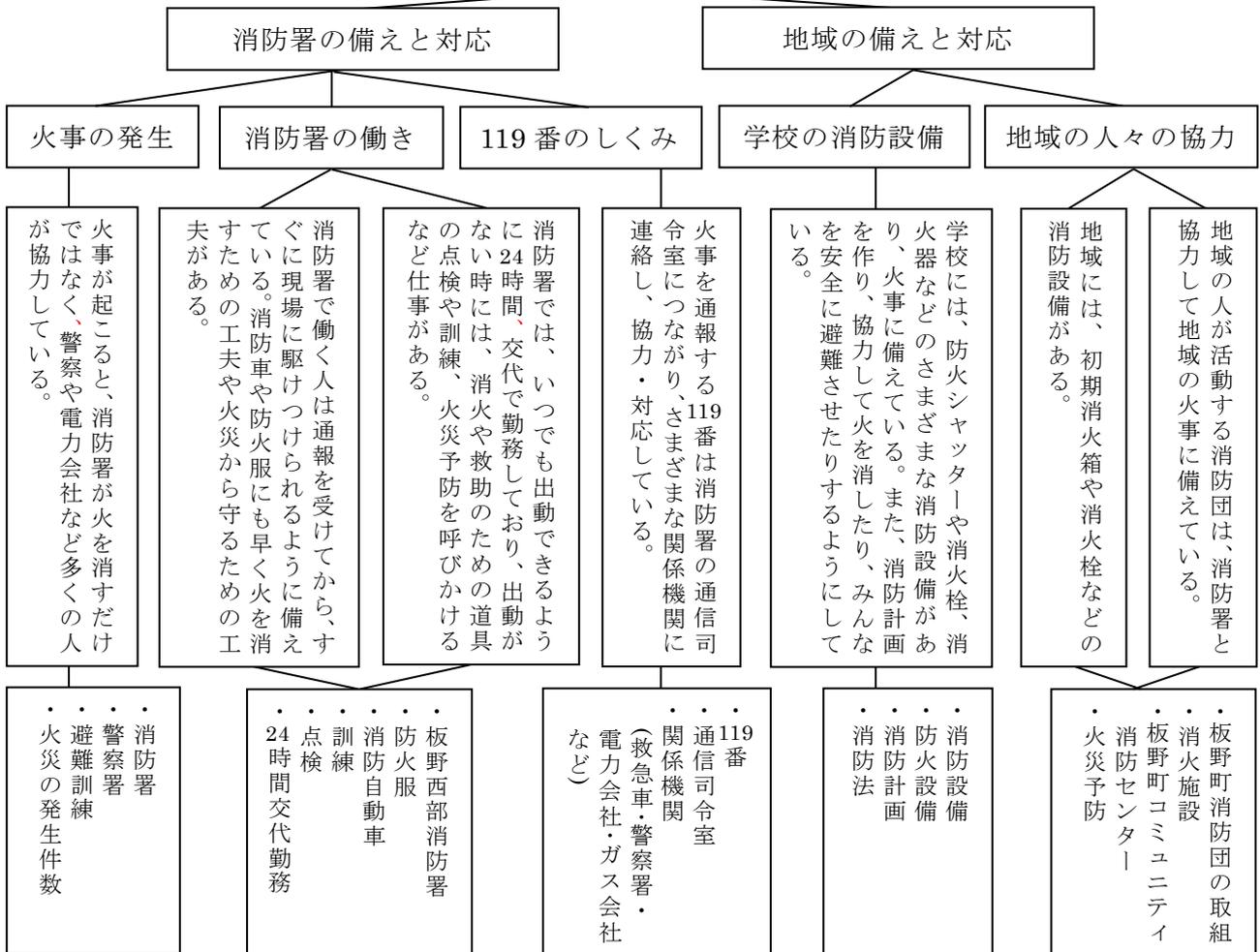
【内容の取り扱い】

イ イの(ア)については、社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うとともに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること。

【中心概念】 消防署は、さまざまな機関や地域の人たちと協力して、火災などの緊急時に備えたり、火災を防ぐ取組をしたりしている。自分やまちの安全を守るために、自分たちにもできることがある。

施設・設備などの配置 **緊急時への備えや対応**

【単元の学習問題】 火事からまちを守るために、だれがどのようなことをしているのだろう。



5 指導計画 (全8時間)

□…学習問題 □…本時のめあて ◆…主な評価 □…次時につながる思考 ○…指導・支援

段階	活動と主な評価	子どもの意識の流れ	指導・支援
問題をつかむ	①身近な地域の火事の現状や、火事が起きたときの消防の働きを調べ気付きや疑問を出し合い、単元の学習問題をつくろう。	<ul style="list-style-type: none"> 火事は怖いな。 火事が起きるとすぐに逃げないといけないね。 消防署に連絡をしないといけないね。 だれが連絡するんだろう。 火事の原因は何だろう。 	<p>(資) 避難訓練の様子の写真・イラスト</p> <p>学校での避難訓練の様子の写真を提示し、「学校で火事が起きたらどうすればいいのだろう。」と問うことにより、火災が起きた時の対応や防災への取組に関心をもつことができるようにする。</p>
	<p>火事からまちを守るために、どのような取組をしているのだろう。</p>		
予想をたてる	②消防の働きについて予想し、調べ方を考えよう。	<p>消防署の働きを予想し、調べる計画を立てよう。</p> <p>消防自動車が早く到着する工夫があると思う。(消防署の働き)【A】</p> <p>消防士さんは早くかけつけられるようにしていると思う。(消防署の働き)【A】</p> <p>火事が起きてないときにも何かしているんじゃないかな。(消防署の働き)【A】</p> <p>119番通報をしたあと、どうなるのかな。(119番の仕組み)【B】</p> <p>学校にも火事から守る設備があるんじゃないかな。(学校の消防設備)【C】</p> <p>地域にも火事に備えた工夫があるのかな。(地域の人々の協力)【D】</p>	<p>「火事からまちを守るために、どのような取組をしているのだろう。」と問うことにより、予想をもとに調べることを整理し、見直しをもって単元の学習を展開できるようにする。</p> <p>調べたいことを出し合い、分類することで、考えを整理できるようにする。</p>
	③④消防署の施設を見学したり、消防士の話を聞いたりして、消防署の施設の様子や消防士の仕事について調べよう。	<p>消防署の人たちはどのような仕事をしているのだろう。【A】【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> いつでも出動できるように24時間交代で働いているんだね。 早く現場にかけつけられるように、日頃から訓練しているんだね。 消防自動車や道具の点検もしているんだね。 消防団や警察署とも協力していると言っていたね。 <p>他には、どんなところと協力しているのかな？</p>	<p>「消防士さんが一番大切にしていることは何だろう。」と問うことにより、消防署は関係機関と連携していることを予想できるようにする。</p> <p>(資) 消防署見学での写真</p>
調べたしかめる	⑤火事が発生したときの関係機関(消防署、警察署、水道局、ガス会社、電力会社)の連携の仕組みについて調べよう。	<p>火事が起きたとき、誰がどのように協力しているのだろう。【B】</p> <ul style="list-style-type: none"> 119番にかけると消防署の通信司令室につながると言っていたよ。 通信司令室からいろいろな所に連絡がいくんだね。 怪我人を受け入れる病院や交通整理を行う警察にも連絡がいくんだね。 電力会社やガス会社にも連絡がいくんだね。 <p>学校には、火事に備えた設備があるのかな。</p>	<p>(資) 火事現場のイラスト</p> <p>(資) 119番通報の流れ</p> <p>「119番にかけると、いろいろな関係機関につながるけれど、どれが1番大切なのだろう。」と問うことにより、消防署は関係機関と連携し、緊急時に対応できるような体制をとることで火災から人々の命を守っていることに気付くことができるようにする。</p>
	⑥⑦防火責任者の先生から、校内における防火の取組について話を聞き、校内の消防設備について調べよう。	<p>学校には、火事に備えてどのようなものがあるのだろう。【C】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教室には、熱感知器があったよ。 階段の近くにけむり感知器があったよ。 避難訓練もしているよ。 消防士さんが、消火器の使い方について教えてくれたね。 <p>学校のまわりには、火事に備えた設備はあるのかな。</p>	<p>(資) 学校の防火設備の写真 説明</p> <p>「学校にはこれだけの設備があるが、これで火事を防ぐことができるのだろうか。」と問うことにより学校には様々な種類の消防設備があることやその役割や効果についてより理解することができるようにする。</p>
	⑧地域の消防設備を調べよう。	<p>地域では、火事に対してどのような備えをしているのだろう。【D】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域には、たくさん消火栓があるね。 消火栓の近くにはホースがあるね。 学校と地域では、消防設備が違うね。 広い道に消防設備が多いね。 <p>消防コミュニティーセンターという建物があったけど何かな。</p>	<p>(資) 地域の消防設備の写真 説明</p> <p>「地域にはどのくらい防火設備があるのだろう。」と問うことにより、学校と同じように火災から地域の人々を守るための工夫があることに気付くことができるようにする。</p>
	⑨消防団や地域の人たちがどのような思いで地域を守ろうとしているか調べよう。	<p>消防団の仕事について調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防団は消防署と協力して消火や救助をしているんだね。 休日にも放水の訓練や道具の点検などを行っているんだね。 普段の日は、他の仕事をしていると言っていたよ。 消防団の人たちは、火事を防ぐ呼びかけもしているよ。 火事が起きたとき、地域の人ならすぐかけつけられるよね。 <p>消防団の他にも協力している人はいるのかな。</p>	<p>(資) 消防団の活動写真</p> <p>(資) 消防団の人の話</p> <p>(資) 消防団員減少グラフ (総務省消防庁)</p> <p>「このまま消防団の人が減っていくとどうなるのかな。」と問うことにより、火災の防止には、地域の人々の協力が必要であることに気付くことができるようにする。</p>
	<p>火事からまちを守るために、どのようなことをしているかまとめよう。 【判断を求める問い】火事をなくすために自分たちにできることを考えよう。</p>		
みんなで考え話し合う	⑩板野町の火災の全焼件数を知り、これまでに調べてきたことをもとに、火事を防ぐための工夫や努力について話し合おう。(本時)	<ul style="list-style-type: none"> 消防署の人は24時間火事に備えていて、いつでも出動できるようにしている。 消防士の服は素早く着替えられるようにしているよ。 火事が無いときは、訓練や道具の点検をしているんだね。 地域の人たちが消防団をつくって自分たちのまちを守るために活動しているね。 消防団もすぐに火事に対応するために防災訓練をしているよ。 <p>みんなで協力して火事を防いでいるんだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> 火事が地域で起きたら、近くの大人に知らせたいな。 火がつくものが道にあったら拾うようにしたいな。 消火栓の上に車を置かないように大人に呼びかけたいな。 地域の火災訓練に参加して火事に備えるようにしたいな。 花火の後、火が消えているかチェックするよ。 <p>学習したことを家族や学校のみんなに呼びかけたいな。</p>	<p>「火事からまちを守るために、どのような取組をしているのだろう。」と問うことにより、消防署や地域の取組によって全焼が0件になっていることに気付くようにする。</p> <p>単元全体で学んだことをもとに関係図でまとめることにより、自分たちの生活と消防署や関係機関の働きのつながりを考えられるようにする。</p> <p>「火事をなくすために自分にできることを考えよう。」と問うことにより、地域の一員として自分にできることを考え、選択・判断できるようにする。</p> <p>(資) 板野町の火災発生件数</p> <p>(資) 板野町の全焼件数</p>
	⑪地域の一員として、できることをみんなに伝えよう。	<p>地域の安全を守るためにポスターで呼びかけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家には火災警報器をつけることが決められているから、それを多くの人に知ってもらいたいな。 ガスコンロやストーブを使ったら、火を消したか確かめるように家の人に伝えたいな。 ポスターを作って、火遊びは絶対だめだと伝えたいな。 	<p>「自分が一番伝えたい言葉は何かな。」と問うことにより、根拠となる資料などを示しながら自分たちに協力できることを選択・判断できるようにする。</p>
ひろげ深める			

6 本時の指導について

本時のポイント	関係機関の連携や地域の人々の協力、それぞれの働きについて関係図にまとめることにより、たくさんの方が協力して火災から町を守っていることを捉え、自分のできることを考えることができるか。
----------------	--

(1) 本時の目標

火災からまちを守るために連携・協力している関係機関や地域の人々のはたらきを関係図にまとめ、地域の一員として自分たちにできることについて自分の考えをまとめることができる。

(2) 本時の展開

…本時のめあて …子どもの意識 …教師の問いかけ・働きかけ は資料

子どもの意識の流れ	学習活動及び◇指導・支援 ◆評価
<p>消防団の人はみんなで協力していたね。消防団の他にも協力している人はいるのかな。</p> <p style="text-align: right;">■板野町の全焼件数</p> <p>火事からまちを守るために、どのようなことをしているかまとめよう。</p> <p>火事からまちを守るためにだれがどのようなことをしているのかな。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">病院</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">警察署</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ガス会社</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水道局</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">電力会社</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">消防署</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間のそなえ ・ 通信指令室からの連絡 ・ 他の消防署との連絡 ・ 消火や救助の訓練 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 10%; text-align: center;"> <p>役場</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%; text-align: center;"> <p>わたしたち</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">火事をふせぐ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消火設備や防火設備を整えている。 ・ 避難訓練をしている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">地域の人々</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団の取組 ・ 避難訓練を行う。 ・ 防火をよびかける。 </div> </div> <p>火事からまちを守ろうとみんなが協力しているんだね。</p> <p style="text-align: right;">■板野町の火災発生件数</p> <p>火事をなくすために自分たちにできることを考えよう。 【判断を求める問い】</p> <p style="text-align: center;">自分たちにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の消火器や消火栓の前に物を置かないようにする。 ・ 道路の消火栓の上に車を置かないように家の人に言う。 ・ 地域の火災訓練に参加して火事に備えるようにしたい。 ・ 火事が起きた時にすぐに逃げられるように避難訓練に真剣に取り組む。 ・ 火事が起こったらすぐに119番通報する。 ・ 火遊びをしないようにする。 <p>学習したことを家族や学校・地域のみんなに呼びかけたい。</p>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 ⑤</p> <p>◇ 振り返りを発表させることにより、本時の学習の方向づけをする。</p> <p>2 火事からまちを守るはたらきについて関係図にまとめる。 ⑮</p> <p>◇ 学習してきたことを関係図にまとめることにより、協力して火事からまちを守っていることに気付くことができるようにする。</p> <p>◇ ノートや教室内の資料に着目できるように促すことにより、単元で扱った資料を活用し、発言することができるようにする。</p> <p>3 火事から自分や地域の安全を守るために、自分たちにできることはなにかについて話し合う。 ⑮</p> <p>◇ 板書を構造的に示すことにより、自分たちの協力の必要性を感じ、関係機関や地域の取組をもとに自分事として考え、根拠をもとに判断することができるようにする。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。 ⑩</p> <p>◇ 書き出しやキーワードを提示することにより、焦点化して書くことができるようにする。</p> <p>◆ 火事を減らすために自分たちができることについて、根拠をもって考え、表現している。</p> <p style="text-align: right;">(思・判・表) 【発言・ワークシート】</p>